

平成25年度

(平成25年4月1日から平成26年3月31日まで)

高岡市民病院事業会計決算の概要(案)

- (1) 患者数の状況
- (2) 収益的収支の状況
- (3) 資本的収支の状況

高岡市民病院 経営管理室

(1) 患者数の状況

項 目			平成25年度	平成24年度	対前年度増減		
					増 減	率 (%)	
患 者 数	入 院	延 べ 患 者 数	131,620 人	130,782 人	838	0.6	
		診 療 実 日 数	365 日	365 日	0	0.0	
		一 日 平 均 患 者 数	360.6 人	358.3 人	2.3	0.6	
	外 来	延 べ 患 者 数	229,837 人	230,365 人	▲ 528	▲ 0.2	
		診 療 実 日 数	244 日	245 日	▲ 1	▲ 0.4	
		一 日 平 均 患 者 数	942.0 人	940.3 人	1.7	0.2	
	計		361,457 人	361,147 人	310	0.1	
	病 床 利 用 率 (476床)			75.8 %	75.3 %	0.5	ポイント
	平 均 在 院 日 数			16.1 日	15.9 日	0.2	日

- (1) 入院患者数は、年間延べ患者数が131,620人で、前年度と比較して838人の増加となり、1日平均患者数で、360.6人と2.3人の増加となっている。
また、病床利用率は前年度と比較して0.5ポイント増の75.8%、平均在院日数は前年度と比較して0.2日増の16.1日となっている。
- (2) 外来患者数は、年間延べ患者数が229,837人で、診療実日数が1日減となったことから、前年度と比較して528人減少したものの、1日平均患者数で、942.0人と1.7人の増加となっている。

(2) 収益的収支の状況

(単位:千円)

年度 区分	平成25年度	平成24年度	増減		備考 (増減理由の主なもの)	
	決算額(a)	決算額(b)	金額(a-b)	率(%)		
経常 収 益	医業収益(I)	8,023,605	8,058,565	▲ 34,960	▲ 0.4	
	入院収益	5,636,622	5,707,245	▲ 70,623	▲ 1.2	患者数増の一方で、1人1日当たりの診療収入の減による減少 131,620人(130,782人(H24)) 838人 42,825円(43,639円(H24)) ▲814円
	外来収益	2,033,269	1,969,656	63,613	3.2	・患者数減の一方で、1人1日当たりの診療収入の増による増加 229,837人(230,365人(H24)) ▲528人
	その他医業収益	353,714	381,664	▲ 27,950	▲ 7.3	・室料差額収益の減少
	医業外収益	852,728	825,337	27,391	3.3	
	受取利息及び配当金	0	0	0	-	
	補助金	824,908	796,967	27,941	3.5	・企業債償還利子補助金の減少 ・高度医療補助金の増加 ・基礎年金拠出金公的負担分への繰入の増加
	その他医業外収益	27,820	28,370	▲ 550	▲ 1.9	
	看護学校収益	150,948	166,513	▲ 15,565	▲ 9.3	
	補助金	145,199	160,041	▲ 14,842	▲ 9.3	費用の減少に伴う、看護専門学校に係る繰入金の減
	その他	5,749	6,472	▲ 723	▲ 11.2	
	(A)	9,027,281	9,050,415	▲ 23,134	▲ 0.3	
	経常 費 用	医業費用(II)	8,449,054	8,463,945	▲ 14,891	▲ 0.2
給与費		4,374,815	4,478,140	▲ 103,325	▲ 2.3	・給与・手当の減額措置に伴う、給与・手当の減(7月～3月) ・臨時・応援医師への賃金増、非常勤職員の増に伴う賃金の増 ・退職者特別負担金の減 ・基礎年金拠出金に係る公的負担の遡及分がなかったことによる法定福利費の減
材料費		1,705,382	1,619,415	85,967	5.3	・外来化学療法における新規抗がん剤の使用等による薬品費の増 ・循環器の手術件数増に伴う診療材料費の増
経費		1,317,840	1,269,619	48,221	3.8	・ガス料金の高騰に伴う燃料費の増 ・高度医療機器導入に伴う保守委託料の増 ・電気料の増加に伴う光熱水費の増
減価償却費		1,025,664	1,052,028	▲ 26,364	▲ 2.5	・医療機器等
資産減耗費		2,991	23,149	▲ 20,158	▲ 87.1	・高度医療機器導入に伴う旧機器の除却費
研究研修費		22,362	21,594	768	3.6	
医業外費用		481,013	469,121	11,892	2.5	
支払利息及び企業債 取扱諸費		271,085	286,306	▲ 15,221	▲ 5.3	・改築債の償還のうち、償還利子の減(元利均等のため)
その他医業外費用		209,928	182,815	27,113	14.8	・消費税雑支出の増
看護学校費用		149,214	165,630	▲ 16,416	▲ 9.9	
給与費		132,675	148,680	▲ 16,005	▲ 10.8	・給与・手当の減額措置に伴う、給与・手当の減(7月～3月) ・事務員給の減
経費		16,539	16,950	▲ 411	▲ 2.4	
(B)	9,079,281	9,098,696	▲ 19,415	▲ 0.2		
経常損益(C)	▲ 52,000	▲ 48,281	▲ 3,719	▲ 7.7		
医業損益(I-II)	▲ 425,449	▲ 405,380	▲ 20,069	▲ 5.0		
減価償却費除く損益	973,664	1,003,747	▲ 30,083	▲ 3.0		
特別利益(D)	0	19,480	▲ 19,480	皆減		
特別損失(E)	0	20,621	▲ 20,621	皆減		
特別損益(F)	0	▲ 1,141	1,141	-		
総収益(G)	9,027,281	9,069,895	▲ 42,614	▲ 0.5		
総費用(H)	9,079,281	9,119,317	▲ 40,036	▲ 0.4		
純損益(I)	▲ 52,000	▲ 49,422	▲ 2,578	▲ 5.2		

平成24年度末 累積欠損金 10,064,744 千円

平成25年度 純損失見込額 52,000 千円

平成25年度 未処理欠損見込額 10,116,744 千円

※減価償却累計額 13,562,485 千円

(3) 資本的収支の状況

(単位:千円)

年度 区分	平成25年度	平成24年度	増 減		備 考 (増減理由の主なもの)	
	決算額(a)	決算額(b)	金額(a-b)	率 (%)		
資本的 収入	企業債	517,400	146,800	370,600	252.5	電子カルテ更新に係る企業債の増(平成25・26年度継続費) 非常用発電装置更新、非常用井水ろ過装置整備、避雷器(アレスタ)新設整備に係る企業債
	医療器械及び備品購入費	423,700	146,800	276,900	188.6	
	施設改良費	93,700	0	93,700	皆増	
	出資金	208,794	265,670	▲ 56,876	▲ 21.4	企業債償還元金の2/3(H14以前許可分)又は1/2(H15以降許可分)。
	企業債償還元金	206,294	263,170	▲ 56,876	▲ 21.6	
	医療機械購入費	2,500	2,500	0	-	
	固定資産売却代金	302	219	83	37.9	医師住宅の解約に伴うもの
	補助金	95,011	14,115	80,896	573.1	地域医療再生整備事業補助金
	計 (A)	821,507	426,804	394,703	92.5	
	うち翌年度繰越財源の充当額(B)	0	0	0	-	
資本的 支出	建設改良費	643,335	165,968	477,367	287.6	電子カルテ更新に係る費用増(平成25・26年度継続費) 非常用発電装置更新、非常用井水ろ過装置整備、避雷器(アレスタ)新設整備
	医療器械及び備品購入費	455,901	165,968	289,933	174.7	
	施設改良費	187,434	0	187,434	皆増	
	企業債償還金	800,833	863,921	▲ 63,088	▲ 7.3	電子カルテ導入に係る企業債元金償還が終了したことに伴う減(H19年度債)
	投資	754	290	464	160.0	
	住宅敷金	754	290	464	160.0	医師住宅の新規契約に伴うもの
	計 (C)	1,444,922	1,030,179	414,743	40.3	
資本的収支差引額 [(A)-(B)]-(C)=(D)	▲ 623,415	▲ 603,375	▲ 20,040	▲ 3.3		
前年度繰越財源 充当額 (E)	0	0	0	-		
再差引額 (F)	▲ 623,415	▲ 603,375	▲ 20,040	▲ 3.3		
消費税資本的収 支調整額	754	270	484	179.3		
損益勘定留保資金	622,661	603,105	19,556	3.2		

※ 資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額は、消費税資本的収支調整額及び当年度損益勘定留保資金(減価償却費等)で補填する。

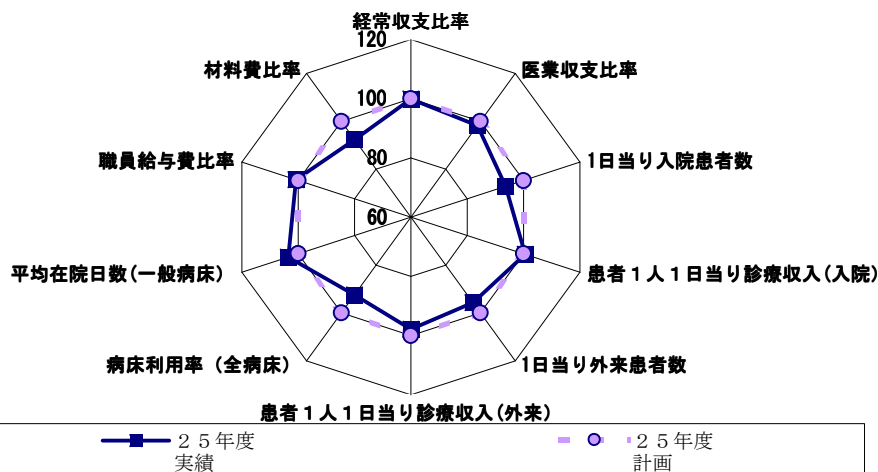
※ 消費税資本的収支調整額とは、医療器械の購入(資本的支出)にあたって支払われた消費税のうち、課税売上割合によって控除されたため納める必要がなくなり、病院内部に留保された資金を指す。

※ 損益勘定留保資金とは、収益的収支において減価償却費、資産減耗費等の非現金支出費用を計上することにより病院内部に留保された資金を指す。

主な経営指標の進捗状況について

	24年度実績	25年度計画	25年度実績	計画との比較	点検・評価
※1 経常収支比率 (%)	99.5	99.5	99.4	-0.1	収益面では、延患者数、診療単価ともに増加したことで外来収益は増加したものの、入院では、延患者数増加の一方で、診療単価の減少に伴い、入院収益の減となり、経常収益・医業収益ともに前年度と比較して減少した。 費用面では、薬品費の増加に伴う材料費の増、電気料値上げに伴う光熱水費の増をはじめとする経費の増の一方、給与・手当の減額措置に伴う給与費が減少したことにより、経常費用・医業費用ともに減少した。 こうしたことから、経常収支は△52百万円となり、概ね計画値どおりとなっている。
※2 医業収支比率 (%)	95.1	96.6	94.9	-1.7	
1日当り入院患者数 (人)	358.3	385.0	360.6	-24.4	前年度に比べ平均在院日数が長くなったことにより、延患者数が増加したものの、計画値を下回っている。
患者1人1日当り診療収入(入院) (円)	43,639	42,600	42,825	225	比較的多くの医療資源を投入する新規入院患者数の減少、比較的単価の低いとされる高齢者の入院患者数の増加等により、前年度と比較して入院診療単価の減少したものの、計画値を上回っている。
1日当り外来患者数 (人)	940.3	985.0	942.0	-43.0	本院における地域連携の更なる推進の中で、診療所等へ逆紹介する患者数が増加したことなどにより、計画値を下回っている。
患者1人1日当り診療収入(外来) (円)	8,550	9,045	8,847	-198	外来化学療法における新規抗がん剤の使用等により、単価が前年値を上回ったものの、計画値を下回っている。
病床利用率(全病床) (%)	75.3	82.0	75.8	-6.2	入院患者数の増加に伴い、病床利用が増加したものの、計画値を下回った。一方、平均在院日数については計画値を上回っている。
平均在院日数(一般病床) (日)	14.2	14.0	14.5	0.5	
※3 職員給与費比率 (%)	49.6	48.4	48.8	0.4	給与費は7月からの給与減額措置があったため、前年度に比べ減少した。そのため、前年度に比較して比率は減少したが、計画値をわずかに上回っている。
※4 材料費比率 (%)	19.1	22.0	20.3	-1.7	外来化学療法における新規抗がん剤の使用に伴い、材料費が増加したものの、計画値を下回っている。

H25年度主な経営指標の目標値との比較



※1 経常収支比率

病院が安定した経営を行うための財政基盤を確保するためには、この比率が100以上であることが望ましいとされている。

$$(\text{経常収益} \div \text{経常費用}) \times 100$$

※2 医業収支比率

医業費用が医業収益によってどの程度賄われているかを示す指標で、この比率が100以上であることが望ましいとされている。

$$(\text{医業収益} \div \text{医業費用}) \times 100$$

※3 職員給与費比率

病院の職員数が適正かどうかを判断する指標で、この指標が低いほど良いとされている。

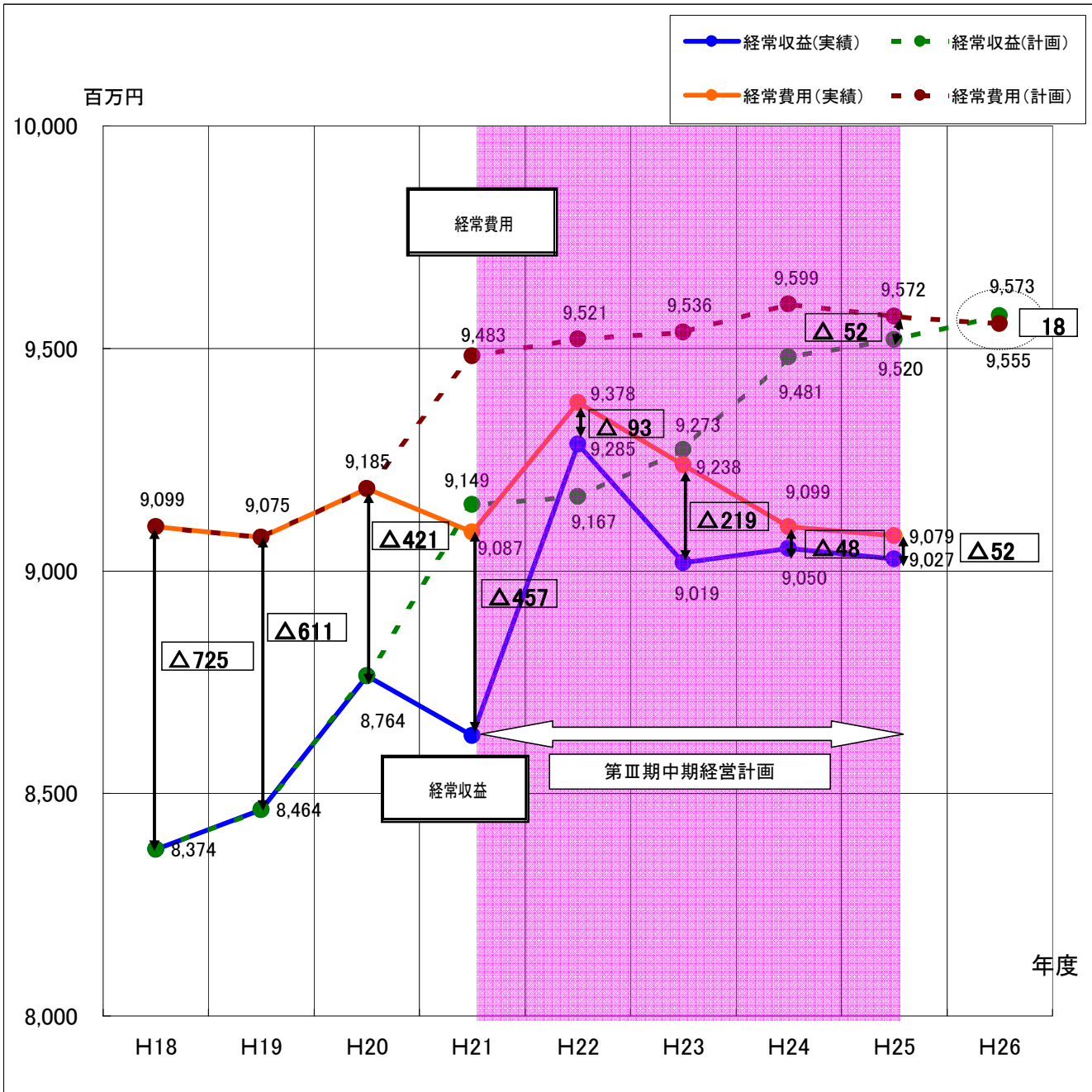
$$(\text{職員給与費} \div \text{医業収益}) \times 100$$

※4 材料費比率

材料費(薬品費+診療材料費+医療消耗備品費)が適正かどうかを判断する指標。

$$(\text{材料費} \div \text{医業収益}) \times 100 \quad \text{※給食材料費は含めていない}$$

■ 病院事業収支の推移



	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
経常損益(百万円)	△ 1,038	△ 996	△ 869	△ 725	△ 611	△ 421	△ 457	△ 93	△ 219	△ 48	△ 52
累積欠損金(百万円)	△ 5,623	△ 6,619	△ 7,488	△ 8,214	△ 8,825	△ 9,246	△ 9,703	△ 9,796	△ 10,015	△ 10,065	△ 10,117
【参考】現金残高(百万円)	376	484	555	568	446	220	75	190	383	747	1,381

※平成24年度までは決算額、平成25年度以降の経常損益は計画額、累積欠損金は実績を反映させた予測値

○第Ⅲ期中期経営計画における計画期間内の実績・計画比較 (単位:百万円)

		H21	H22	H23	H24	H25
【一部再掲】	純損益	実績	△ 457	△ 93	△ 219	△ 49
	計画	△ 334	△ 354	△ 263	△ 118	△ 52
累積欠損金	実績	△ 9,703	△ 9,796	△ 10,015	△ 10,065	△ 10,117
	計画	△ 9,616	△ 9,970	△ 10,233	△ 10,351	△ 10,403

第Ⅲ期中期経営計画(平成21年度～25年度)の総括

別紙3

〔第Ⅲ期中期経営計画での主な取り組み〕

- 1 地域に開かれた安全・安心・納得の医療の提供
 - (1) 開かれた病院づくり
 - 信頼度の向上…機能評価の認定更新、医療安全体制の強化
 - (2) 医療の質の向上
 - 急性期医療の充実…二次救急医療機関としての救急医療の提供、災害拠点病院としての体制づくり
 - 高度先進医療の充実…がん拠点病院としての機能強化
 - (3) 医療連携
 - 紹介・逆紹介の向上
 - 病病・病診連携の強化…地域れんけいネットの充実
 - (4) 情報化の推進と教育・研修機能の向上

- 2 経営の効率化～安定かつ継続的な経営改革を目指す～
 - (1) 地域住民参画による健全経営…経営懇話会の助言等をもとにした経営改善の実行
 - (2) 収益の確保
 - 医業収益の確保…各種加算の取得
 - (3) 一般会計繰入金の適正化
 - (4) 医師・看護師の確保
 - 医師確保…大学医局との連携
 - 看護師・コメディカル対策…職員の確保
 - (5) 費用の削減等
 - 医療材料費の効率的な運用…ジェネリック医薬品の利用促進
 - 高コスト対策の是正…委託の推進・拡大
 - 医療機器の更新
 - (6) 適正な職員配置…医師、看護師確保

	20年度 実績 (取り組み前)	25年度 実績 (取り組み 後)	概要
経常収支比率 (%)	95.4	99.4	<p>がん拠点病院としての機能強化を含む病院全体の診療機能強化を図るため、高度医療機器の導入を図ったことや、7:1看護体制の維持、チーム医療の推進等により、診療報酬加算取得が進んだことで医業収益が増加し、医業収支が改善され、その結果、経常収支の改善が進んだ。</p> <p>○経常収支について… 平成25年度末の経常収支は▲52百万円となり、計画当初に比べ▲369百万円減少しており収支改善が進んでいる。</p> <p>○累積欠損金について… 累積欠損金は増加しているものの、計画では平成25年度には10,403百万円を見込んでいたが、赤字幅の減少が計画値以上に進んだことにより約290百万円少ない10,117百万円となっている。</p> <p>こうしたことから、第Ⅲ期中期経営計画の取り組みは概ね順調に進んだものと考えている。第Ⅳ期計画では、こうした取り組みをさらにすすめ、計画期間後半での総収支の黒字化を図り、累積欠損金の減少に努めていく。</p> <p>厚生労働省の「医療費の動向」によると、平成21年度から富山県内の受診延べ日数は入院・外来ともに減少傾向にあり、高岡市内の公的4病院においても同様の傾向がみられた。</p> <p>・入院患者について… 本院においては、実患者数が減少している以外に、急性期医療・高度先進医療の充実等の取組みにより、医療の質の向上が図られ、患者1人当たりの入院期間が短くなっていることも要因となった。</p> <p>このため、患者数は計画値に比して少ないものの、短期間に多くの医療資源を投入できることとなり、1人当たりの診療収入は増加傾向にある。</p> <p>・外来患者について… また、外来患者については、地域連携の強化を推進するうえで、逆紹介を積極的に進めており、計画値に比べ患者数が減少している要因もある。</p> <p>こうしたことから、第Ⅳ期計画では、急性期病院としての機能をさらに向上させることで医療の質の向上を図るとともに、地域連携の強化に努め、紹介患者を増加させていくことで、急性期病院としての機能を活かせる患者を確保し、新規入院患者の増加に努めるとともに、さらなる診療単価の増加を図っていく。</p> <p>計画開始当初に比べ、延べ患者数は減少傾向にあり、計画値に到達できていない状況にある。今後さらに、入院期間の短縮が求められており、第Ⅳ期計画では医療連携の強化等により新規患者の確保に努め、病床利用率を高めていく。</p>
医業収支比率 (%)	92.1	95.5	
経常収支 (百万円)	▲ 421.2	▲ 52.0	
累積欠損金 (百万円)	9,245.7	10,117.0	
1日当り入院患者数 (人)	385.0	360.6	
1日当り外来患者数 (人)	989.0	942.0	
患者1人1日当り診療収入(入院) (円)	38,579	42,825	
患者1人1日当り診療収入(外来) (円)	8,246	8,847	
平均在院日数(一般病床) (日)	14.8	14.5	
病床利用率(全病床) (%)	80.8	75.8	